

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 エペ6:2-3…………… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …………… 53番
- *交読文 …………… 46番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 175番
- 礼拝のための祈り …… 1部:渡辺和歌子 働き人 2部:小林美之 働き人
- 賛美 …………… 408番
- メッセージ …………… モーセ一家の大黒柱の働き(出エジプト記 17:8-16)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 410番
- 献金感謝の祈り …… パスター
- 報告と歓迎 ……………
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

祈祷課題

- ・この教会が天の声、すなわち御言葉なるキリストに聞き従い、御心を行う教会であるように
- ・兄弟姉妹達が御言葉をたくわえ、昼も夜も口ずさみ、出るにも入るにも祝福されるように
- ・聖霊に満たされ、弟子の舌が与えられ、大胆にキリストを伝えられるように
- ・主を愛し、御言葉に忠実な、御霊に満ちた働き人、70名が与えられるように
- ・病、貧しさ、悲しみ、捕われの内にある兄弟姉妹のいやし、慰め、解放のために
- ・終末の災い(戦争、地震、飢饉など)に実際に直面している世界の兄弟姉妹達のために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

主が____の繁栄を回復されたとき、____は夢みる者のようであった。
 その時____の口は笑いで満たされ、____の舌は喜びの声で満たされた。
 その時「主は彼らのために大いなる事をなされた」と／言った者が、もろもろの国民の中にあつた。主は____のために大いなる事をなされたので、____は喜んだ。
 主よ、どうか、____の繁栄を、ネゲブの川のように回復してください。
 涙をもって種まく____は、喜びの声をもって刈り取る。
 種を携え、涙を流して出て行く____は、束を携え、喜びの声をあげて帰ってくるであろう。(詩篇 126 篇)

今日は父の日、普段から家族のために骨折って働いている父に感謝する日である。父の存在は一家の中で最も大きい。男性は家では大抵無口なので、あまり目立たないかもしれないが、父がいるというだけで、妻も子供も安心感を得ているものである。今回、かの有名な人物、モーセから、父親像を見たい。
 モーセは父としてのイメージはあまり無いかもしれないが、彼がイスラエルに成した事はとても偉大である。そんなモーセも、最初から偉大な性質の持ち主だったわけではなかった。主から召命を受けた時、彼はただの80歳の口下手な羊飼いだつた。最初は、神様から言われた事を「できません」と何度も断って神様を怒らせたり、やっとならぬ前に出て怖気づいて神様から示された通りに正しく出来なかつたりもした。
 しかし、曲がりなりにも、神様から示された通りにしたら、それはことごとく驚くべき結果になつた。彼はそうした一つ一つの小さな従順の積み重ねで、徐々に神様に信頼を置く事の確信を得ていく。そうしてついにはエジプトに決定的な災いが降され、全イスラエルはようやくエジプトを脱出する。主と歩むなら、実に有り得ない事の連続である。主に依り頼まず自分の力に頼って挫折し、そのまま歳を重ね、口下手な80歳になつてしまつても、主に依り頼み始めたその時点で、その性質は徐々に変わって行くのである。

エジプトは戦車や騎兵で追つて来た。しかしモーセが主から指示された通りに、杖を海に向けて差し伸べると、主は海を分けて、イスラエルを通れるようにし、エジプトに対しては海を閉じて滅ぼした。
 この偉大な事が為されてからわずか3日後、民は、モーセに文句を言い出す。マラという所に来たのだが、その水は苦くて飲めなかつたのだ。(出 15:22-27) 父というものは、何年がかりの偉大な事業を成し遂げても、目の前にちよつと不足が生じると、たちまち家族から非難の矢が飛んで来てしまうものだ。家族の中でいつも一番心砕いて家族を導いているのに、どう頑張つても、必要なものが得られないという時がある。
 その時、家全体を守らなくてはというプレッシャーのみならず、一番助けてもらいたい家族からも非難を受けて、窮地に陥る事もあるが、その時こそ、一家の長たる父は、主に叫ぶべきである。(出 22:25)
 モーセは主に叫んだ所、一本の木を主から示され、それを水に投げ入れてみると、その水は甘くなつた。こうして彼らは12の水の泉と70本のなつめやしの木がある「エリム(丈夫な木という意味)」へと辿り着いた。私達の人生においても、苦勞の末に辿り着いた所は、苦い所だつた、という時こそ、主に祈つて叫び、「キリストの十字架という木」を、そこに投げ込むのだ。そうすると、そこは甘い場所になるのだ！

主は彼らのために天からパンを降らせ、岩から水を出し、食料の心配を除いて下さつたが、時に、外敵・アマレクが戦いを仕掛けて来た。彼らは疲れ弱っている人達を攻め打つたのだ。(申命記 25:17-19)
 『モーセはヨシュアに言った。「私たちのために幾人かを選び、出て行ってアマレクと戦いなさい。あす私は神の杖を手を持って、丘の頂に立ちます。」ヨシュアはモーセが言ったとおりにして、アマレクと戦つた。モーセとアロンとフルは丘の頂に登つた。』(出エジプト記 17:9)
 モーセはそれまで、困つた事が起きる度に主に叫んでいたが、今回彼は「主は必ず助けて下さる」と積極的に信じ、彼の従者ヨシュアに戦うよう指示して、モーセ自身はあの杖を持って、丘の上に立つた。
 『モーセが手を上げているときは、イスラエルが優勢になり、手を降ろしているときは、アマレクが優勢になつた。しかし、モーセの手が重くなつた。…アロンとフルは、一人はこちら側、一人はあちら側から、モーセの手をささえた。それで彼の手は日が沈むまで、しっかりそのままであつた。』(出エジプト記 17:11-12)
 ヨシュアは前線に出て戦っていたが、戦いの勝敗を切り分けたのは、モーセの執り成し祈りであつた。父は一家の長として、そして祭司として、家全体のために祝福し祈る者である。アブラハムもイサクもヤコブも、ダビデも、家族のために祈る祭司だつた。そして、執り成し祈りという格闘を続けていると疲れも出てくる。そんなモーセを助ける「手」となつたのが、アロンとフルだつた。一家の長が、家族のために働く時、そして執り成す時、疲れも出てくる。その時こそアロンとフルのような、助け手が必要である。助けが無い家、ただ文句ばかり言う家族しかない家は、一家の大黒柱が倒れ、全体が倒れてしまう。
 ヨシュアは、モーセが丘の上に立つて取り成して祈る姿を見て、安心して戦えた。父の祈りと励ましによって、妻も子供も安心して出入り出来る。そして主は彼らの旗となつて導き、その家を勝利へ導いて下さるのである。普段から家族のために骨折っている父達を、その家族を、イエス様の名前によって祝福します！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ/賛美 12:30~
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00

金曜徹夜祈祷会 21:00~

日々の集会

月~金 早天祈祷会 5:00~
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00~
火~木 夜の祈祷会 19:30~

水曜礼拝

1部 13:00~
2部 19:30~

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube